



宮原 麻衣子 精神保健福祉士

野嶋社会保険労務士事務所
精神保健福祉士（大阪府）

精神科は「こころざんざん」

私は12年前に精神保健福祉士（PSW）の資格を取得し、精神科の医療機関等で勤務してきましたが、家業の都合で社会保険労務士（社労士）の資格取得の勉強を始め、昨年国家試験に合格しました。現在は社労士事務

所での仕事に加え、グループホームの生活支援員の仕事、PSWの資格取得を目指す専門学校の講師の仕事に携わっています。

図らずも現在のこのような経歴を持つに至ったわけですが、社労士事務所での仕事を通して、PSWの仕事が少し客観的に見られるようになったと

領域を超えつなぐ

感じています。
残念ながら、精神障害者に対する差別や偏見は根強く残っており、精神疾患を持った人自身が自分の疾患に偏見を抱く「内なる偏見」も多く見られます。
社労士事務所の職員として会社側の立場で精神障害者の復職支援にかかわったり、障

害年金について学びを深める方と協働し、精神保健福祉領域と労働社会保険領域をつなぐ専門家として、企業のメンタルヘルス対策や障害年金の知識の普及等の社会に対する働きかけを行いたいと考えています。

（大阪障害者就労支援ネットワークの橋本泰伸さんにバトンタッチします）